

平成24年度 当初予算

主な事業の説明書

市立大曲病院

目 次

款項目大事業

ページ

市立大曲病院事業

10 - 1

事業説明書

款 項 目 事業

新規 · **継続** · 廃止

課所名 市立大曲病院 管理課

(施策の大綱) 保健・医療の充実

(施策) 地域医療体制の充実

(基本事業) 医療機能の強化

【事業名】	市立大曲病院事業			
【説明項目】	市立大曲病院事業会計について			
収益的収支	【24年度】 1,007,441千円	【23年度】 979,189千円	【増減】 28,252千円	
資本的収支	【24年度】 96,159千円	【23年度】 98,780千円	【増減】 ▲2,621千円	
1. 事業の目的				
市民の健康保持に必要な医療の提供を行う。 精神科的症状を呈する患者に対し、適切で良質な医療の提供を行い、安定した療養生活の継続や、自立・社会復帰の支援をする。				
2. 事業の目標（数値目標）				
標榜科目・・・精神科、神経科、（内科） 病床数・・・120床（一般精神病棟70床、認知症病棟50床） 入院及び外来診療の実施（年間取扱患者数） ・入院・・・41,975人（1日あたり115人） 一般精神病棟・・・24,820人（1日あたり68人） 認知症病棟・・・17,155人（1日あたり47人） ・外来・・・15,417人 外来・・・15,190人（1日あたり62人、245日） 訪問看護・・・227人（1日あたり2人、週2～3日、51週）				
3. 事業の概要				
病院改革プランに基づき、経営の効率化を目指しながら、地域医療の充実を図る。 入院に関しては、一般精神病棟、認知症病棟とともに在院日数の長期化対策を念頭に、新規の入院患者の受け入れに努めるとともに、総合病院と老人介護施設との中間に位置する病院として患者の受け入れを行う。 外来に関しては、年々患者が増加している傾向にあり、在宅支援の観点からの訪問看護・指導事業も含め、さらなるサービスの向上を目指しながら患者の確保に努める。 新たに、一般精神病棟に臨時の看護補助職員を配置して、診療報酬の加算による収入を得るとともに、看護師が本来の業務に専念できる労働環境を整え、業務の加重軽減を図る。				
【収益的収支予算】				
病院事業収益 医業収益 1,007,441千円 医業外収益 238,146千円（うち一般会計負担金 237,000千円） 病院事業費用 医業費用 1,007,441千円 医業外費用 960,405千円 予備費 45,536千円 1,500千円				
【資本的収支予算】				
資本的収入 0千円 資本的支出 96,159千円 (収入額が支出額に不足する額は、過年度損益勘定留保資金で補てん)				
4. これまでの成果と今後の方針				
・患者数は年々増加傾向にあり、地域にとって必要な精神科病院となっている。 ・今後も、心の病を抱える患者や認知症患者の増加が見込まれるため、引き続き充実した医療サービスの提供に努める。				
《H23年度事務事業評価における内容》				
・大仙市及び周辺地域の精神科病院として必要とされている。 ・年々外来患者が増加し、さらに病床利用率も90%を超えており、精神科病院として欠くことのできない病院となっている。				
総合評価 (今後の方針) 現状のまま 継続				
5. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
1,007,441			770,441	237,000
96,159			96,159	0